

建築

■3月15日:  
東北地方太平洋沖地震における建築被害報告会(Ⅱ)を開催!

発災から二年を迎え、新たな地震や津波被害等の研究成果が報告されていることから、宮城県建築物等地震対策推進協議会の主催で建築被害の本報告会を県庁講堂で開催したものです。当日は、多くの建築技術者の方や一般の方に聴講に訪れていただきました。

○講演頂いた皆様  
■宮城県の復旧・復興状況について  
・宮城県土木部建築宅地課 渡邊 広範 氏

■建築被害調査報告  
・東北大学大学院災害制御研究センター 源栄 正人 氏  
・東北大学大学院工学研究科教授 前田 匡樹 氏  
・東北工業大学工学部准教授 船木 尚己 氏  
・株式会社コアテック技術開発センター副所長 赤井 仁志 氏  
・東北工業大学 名誉教授 田中 礼治 氏  
・東北大学大学院工学研究科教授 小野田 泰明 氏  
(詳しくは県土木部建築宅地課企画調整班へお問い合わせ願います。TEL:022-211-3245)



都市計画・まちづくり・住宅

■2月14日:「南三陸町災害公営住宅整備事業着工式」を開催!

南三陸町では、南三陸町木造災害公営住宅建設推進協議会、独立行政法人都市再生機構及び県が相互に連携を図りながら災害公営住宅の整備を進めているところですが、南三陸町入谷地区(51戸)において南三陸町として初めての災害公営住宅に着手することを受けて着工式が開催されました。



■2月23日:「女川町出島地区震災復興事業安全祈願祭」を開催!



女川町離半島部の防災集団移転促進事業で先行する出島・寺間地区が本格着工の運びとなったことから、安全祈願祭が開催されました。設計の検討から施工管理までの各種マネジメントを代行して行うCM(コンストラクション・マネジメント)方式で女川町より業務委託を受けた都市再生機構(UR)が事業を進めています。

■2月26日:「南三陸町防災集団移転促進事業着工式」を開催!

南三陸町では、27地区(28団地)1,096戸の防災集団移転整備を進めるところですが、藤浜地区において、造成工事に着手することから、着工式を開催したものです。当日は、事業概要の説明等の他、戸倉中学校の生徒による郷土芸能「長清水鳥囃子」が披露されました。



■3月10日:「石巻市防災集団移転促進事業起工式」を開催!



石巻市の防災集団移転促進事業は、現在56地区で計画しており、そのうち沿岸部で先行する9地区で造成工事に着手したことから、各地区で安全祈願祭が開催されると同時に、鹿立浜(すだちはま)地区において起工式が開催されました。

■3月25日:「亘理町復興事業着工式」を開催予定!

■3月28日:「気仙沼市鹿折地区、南気仙沼地区 区画整理事業認可交付式」を開催予定!

平成24年度最終号  
宮城県土木部 復興だより 【第8号】  
＜平成25年3月25日現在＞復旧・復興の最新のニュースをお届けします!

【復興加速・復興実感】施設完成着々と...

■3月22日:県南浄化センター下水道災害復旧完工式

県内の下水道施設は壊滅的な被害を受けたものの、防水扉の設置や電気設備を高層に移して浸水防止を図るなど、震災の教訓を活かした復旧を進め、発災から2年という短期間において、着実に災害復旧工事を進めてきました。この度、阿武隈川下流域下水道 県南浄化センターの施設が復旧し、震災前と同様の機能を回復したことから、完工式を実施しました。



▲復興副大臣、県副知事、関係市町長ら多数の関係者に出席いただきました

■3月23日:仙台湾南部海岸完成式



沿岸に設置される海岸堤防は、県民の生命と財産を守る重要な基盤施設で、沿岸各市町の復興まちづくりを推進する上でも、早期の完成が望まれております。この度、国の直轄事業として進められていた仙台湾南部海岸の堤防で、仙台空港や県南浄化センターなどを守る約5km区間が、県内で初めて完成し、関係する市町の復興まちづくりの推進の大きな弾みとなることを期待し完成式が開催されました。

▲式典の様子

3. 11 伝承・減災プロジェクト～「ながく」伝承、「ひろく」伝承、そして「つなぐ」伝承～

■本格始動しました!

宮城県土木部では「3. 11 伝承・減災プロジェクト」として、東日本大震災からの貴重な経験を後世に伝承し、二度と尊い命を失うことのないよう迅速な避難行動等に繋がる様々な取り組みを積極的に進めて全国に発信してまいります。



>>>「3. 11 伝承・減災プロジェクト」伝承サポーター制度の創設 【伝承・減災プロジェクトを後押しして頂ける方々を広く募集します!】  
(詳しくはURLを参照願います <http://www.pref.miyagi.jp/site/0311densyogensaip/>)



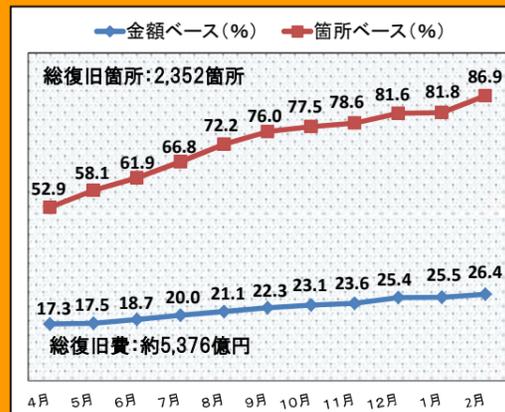
○記事に関する問い合わせ  
宮城県土木部土木総務課企画調整班  
HP: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/dobokusom/>  
TEL: 022-211-3108 E-mail: [dobokgk1@pref.miyagi.jp](mailto:dobokgk1@pref.miyagi.jp)

(H25.3.25 作成)

復旧工事の進捗状況(2月末時点)

■災害復旧事業の進捗状況について(2月末現在)

- 工事に着手した割合を着手率としています。
- 下水道処理施設については、全ての施設の復旧工事に着手しており、平成24年度内に被災した沿岸3流域の下水処理施設について、ほぼ完全復旧する見込みとなっています。
- 道路橋梁施設の災害復旧工事は、先月末から新たに100件以上に着手するなど施設の復旧率も着実に高まっています。



施設種別	復旧箇所数	復旧率	復旧費(億円)
道路橋梁	1,565箇所	約91%	約842
河川海岸施設	352箇所	約84%	約3,217
港湾施設	292箇所	約63%	約884
下水道	121箇所	100%	約402
砂防・地滑・急傾斜施設	9箇所	約89%	約8

<公共土木施設(県事業)の着手率の推移(平成24年度)>

<各公共土木施設(県事業)の着手率(2月末現在)>

## 道路

### ■2月14日:「気仙沼唐桑線本町橋開通式」を開催!



県道気仙沼唐桑線本町橋は、二級河川の大川によって南北に分断されている気仙沼中心市街地を相互に結ぶ重要な橋梁です。  
本町橋は、供用開始から70年以上経過し老朽化が進んでいるほか、幅員が狭小であることから、早期の対策が望まれておりました。  
それらを解消するため、平成14年度より架け替え事業を進めてきましたが、この度、新しい本町橋が供用開始することとなり、気仙沼市中心市街地における交通の円滑化や緊急輸送道路としての機能強化が図られます。

### ■3月3日:「三陸沿岸道路志津川トンネル貫通式」を開催!

国土交通省が復興道路として整備を進めている三陸縦貫自動車道登米志津川道路の志津川トンネル(1,432m)貫通式が開催されました。  
平成23年11月の復興道路着工からわずか1年4ヶ月という驚異的なスピードであり、内陸部と沿岸部の「復興への扉」を開く大きな一歩として、復興道路の早期開通に弾みがつくとともに、被災地の震災からの早期復興・産業・観光振興に寄与するものです。



### ■3月10日:「石巻工業港曾波神線開通式」を開催!



都市計画道路である石巻工業港曾波神(そばのかみ)線は、国道45号線を補完し、石巻工業港から三陸縦貫自動車道へのアクセス道路として地域の発展を担う重要な路線です。  
今回供用する区間は跨線橋を含む約670m区間で、復興まちづくりが展開される新蛇田地区と旧市街地を接続する道路や避難道路として期待されます。

### ■3月13日:「国道4号築館バイパス開通式」を開催!

国土交通省が整備を進めている国道4号築館バイパス7kmのうち国道398号に接続する区間1.3kmが開通しました。  
栗原市築館の市街地を走る国道4号の交通混雑が解消するとともに、JRくりこま高原駅や東北縦貫自動車道築館ICへのアクセスが向上するほか、岩手県南部地域との連携強化にも寄与するものです。



### ■3月20日:「国道108号古川東バイパス開通式」を開催!



国土交通省が整備を進めている国道108号古川東バイパス5.1kmのうち新江合川を横過する区間2.3kmが開通しました。  
大崎中心市街地の交通混雑の緩和により、市街地の活性化に大きな効果が期待されるとともに、大崎市をはじめとする県北地域の産業や観光振興に大いに寄与するものです。

### ■3月20日:「国道4号金ヶ瀬拡幅開通式」を開催!

国土交通省が整備を進めている国道4号金ヶ瀬拡幅3.7kmのうち大河原町内の区間1.35kmが開通しました。  
大河原町内の交通混雑の緩和や交通環境の改善のほか東北新幹線「白石蔵王駅」へのアクセス性が向上します。



### ■3月31日:大和町バスターミナルオープニングセレモニー開催予定!

## 河川・海岸

### ■3月18日:平成24年度知水講座「これからの河川行政について」～伝えたいこと・期待すること～を開催!



知水講座とは、今後の河川行政を担う職員の人材育成を図るとともに、県民の方々に宮城県河川行政を知っていただき、ともに今後の河川行政のあり方を考えるための公開講座です(平成16年度より実施)。

●基調講演1  
「日本の治水を考える ～持続可能なレジリエント社会を目指して～」  
京都大学客員教授  
(前 国土交通省水管理・国土保全局長) 関克己氏



●基調講演2  
「鵬程万里 ～宮城の土木80年 東日本大震災から未来へ～」  
宮城県土木部長 橋本 潔氏

関克己氏からは、これまでの水害をひも解き治水における示唆に富んだ講演を頂きました。本県橋本土木部長からは、宮城の治水の歴史と東日本大震災からの復興に向けた社会資本整備の提言がありました。

(詳しくはURLをご参照下さい <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kasen/ki-h24-chisui-koza2.html>)

## 宮城県地図(施設等位置図)



### ■3月23日:「二線堤・国道346号鹿島台バイパス開通式」を開催!

「水害に強いまちづくり事業」の一環として、国と県が事業を進めてきた、「吉田川二線堤及び国道346号鹿島台バイパス共同事業」において、今回全長3,620m区間の供用を開始しました。  
今回の供用により、大崎市鹿島台市街地の水害に対する安全性が大幅に向上するとともに、慢性的な渋滞の解消が図られるものと期待されます。



●水害に強いまちづくり事業●  
昭和61年8月の豪雨により、大きな洪水被害を受けた大崎市鹿島台、大郷町、松島町を全国初のモデル地区に指定し、地域全体を構造的に水害に強い形態へと変えて、洪水による被害を最小限にとどめるための総合的な治水の取り組み。



## 空港

### ■お知らせ:いよいよ就航!

○ピーチ  
平成25年4月12日(金)～  
・「仙台-大阪(関西)線」 1日2往復

○スカイマーク  
平成25年4月20日(土)～  
・「仙台-札幌(新千歳)線」 1日3往復  
・「仙台-福岡線」 1日2往復

○ハワイアン航空  
平成25年6月26日(水)～  
・「仙台-札幌(経由)-ホノルル線」 週3往復

4月12日、東北発就航のLCC(格安航空会社)ピーチが就航し、新たに仙台空港と関西国際空港を結びます。さらに、20日からはスカイマークが就航し、仙台空港の利便性は大きく向上します。  
また、6月26日からは、約10年ぶりとなる「仙台-ホノルル線」が就航し、国際線は海外8都市へとつながります。  
この春から、飛躍的に便利になる仙台空港を、是非ご利用ください

(詳しくはURLを参照願います <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kurin/>)



ピーチ (C) Peach



スカイマーク

## 下水施設

### ■3月23日:「県南浄化センター震災復興祈願桜植樹祭」を開催!

阿武隈川下流域下水道 県南浄化センターの完全復旧に伴い、官民連携事業の「鎮魂と希望の千年桜回廊プロジェクト」(運河沿川などへの桜の植樹)を開始しました。この度は、小林製薬株式会社様から震災復興支援活動の一環として大島桜(100本)の寄附を受け、同社の社員ボランティアの方々と共に記念桜植樹祭を開催したものです。



## 港湾

### ■3月21日:「国際拠点港湾 新『仙台塩釜港』発足記念シンポジウム」を開催!

仙台塩釜港、石巻港、松島港、三港の統合により、宮城の港湾行政は新たな段階を迎えました。  
東北唯一の国際拠点港湾としてのブランド力を最大限に活かし、地域産業の復興と更なる飛躍を果たすため、仙台塩釜港の未来について行政、経済産業界など様々な視点から講演をいただき、宮城の港湾の将来展望を探りました。



- 講演
- ①「地域産業の活性化及び復興を促進するための仙台塩釜港の役割について」  
塩竈市長 佐藤 昭氏
  - ②「トヨタのロジスティクスと港湾への期待」  
トヨタ自動車株式会社物流管理部長 木村 省二氏
  - ③「生産拠点と物流拠点の統合による港湾利用の効率化について」  
日本製紙株式会社 常務取締役 石巻工場長兼岩沼工場長 藤崎 夏夫氏